

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 2年 6月25日	作成者名	浜野 康彦	評価者名	吉野 博司
-----	-------------	------	-------	------	-------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	06 活力と賑わいを創出できるまち	中心となる課	環境経済部・経済政策課
分野	03 地域資源	関係課	
施策	71 都市型農業の振興		
施策の目的	都市部における市民の農業理解のため、市民相互のふれあいや憩いの場としての市民農園を拡充し、また、農業に関する行事を充実させ、農業の振興を図ります。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	農政対策事業
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
土に親しむ広場の利用区画数	土に親しむ広場区画数	区画	663	632	536	576	553	553	
戸田収穫祭の来場者数	戸田収穫祭への来場者数	人	2,640	2,200	2,373	2,540	2,335	2,709	
その他施策の取組事項に係る成果									

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	都市化の進行により、市民農園「土に親しむ広場」への貸出地は、今後においては用地確保が難しい状況である。 本市における農業振興が難しいことから、姉妹都市との交流事業の充実化も求められる。	対応策	用地確保が難しい状況の中、市民農園「土に親しむ広場」は利用を希望する市民が多いことから、市民が農業に触れる機会が得られるよう調査・検討していく。 また、現在、農政による交流事業を行っている埼玉県・美里町と農業体験の更なる充実を図るため検討していく。
----	---	-----	---

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	土に親しむ広場は毎年応募者多数による抽選を行う等、人気のある事業であることから、農園面積を増加できるよう生産緑地の解除等、注視していく。 戸田収穫祭の来場者数については、長年、同じ内容にて開催していることから見直していく。
B		
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	現状の予算、人員の中で、都市化が進行した本市で実施できる事業を検討し、市民の食や農に対する関心の高まりに応じていく。
→		

(評価者コメント)

市民農園の用地確保は難しい状況にあるものの、今後起こりうる生産緑地の解除等、引き続き調査を行っていきたい。 また、市民が農業に触れることができる事業についても、姉妹・友好都市との交流事業を含め幅広い見地から検討を進めていきたい。
